

令和4年度 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) 申請書(請求書)

支給市区町村

杉並区長 宛

受付印

【誓約・同意事項】(裏面)に誓約・同意の上、申請します。

1 申請・請求者

児童扶養手当証書番号 又は児童育成手当認定番号		記入日	令和 年 月 日
※資格がある方のみご記入ください。			
フリガナ 氏名	生年月日	現住所	
	昭和 平成 年 月 日	杉並区	
※区記入欄		電話 ()	
公的年金受給状況	基礎年金番号 年金コード	児童の父又は母の死亡による遺族補償の受給状況	
<input type="checkbox"/> 受けることができる(種類:)		<input type="checkbox"/> 受けることができる(種類:)	
<input type="checkbox"/> 支給停止(種類:)		<input type="checkbox"/> 支給停止(種類:)	
<input type="checkbox"/> 受けることができない		<input type="checkbox"/> 受けることができない	

※「公的年金」とは、「遺族年金(遺族基礎年金、遺族厚生年金及び遺族共済年金を含む。）」、「老齢年金(老齢基礎年金、老齢厚生年金及び退職共済年金を含む。）」、「障害年金(障害基礎年金、障害厚生年金及び障害共済年金を含む。）」、「母子年金」、「恩給」等をいいます。

※「受けることができる」とは、現に受けているとき、申請中であるとき又は申請すれば受けることができる状態にある時をいいます。

2 監護等児童

支給要件が「公的年金給付等受給者」の場合は、令和4年3月31日時点で児童扶養手当の支給要件に該当する児童について記入してください。なお、令和4年4月1日までに18歳となる児童(障害のある場合を除く)は該当しません。支給要件が「家計急変者」の場合は、申請時点において、児童扶養手当の支給要件に該当する児童について記入してください。

No.	フリガナ 氏名	続柄	障害の有無	生年月日	同居・別居の別	住所(別居の場合のみ記入)
1			有・無	平成・令和 年 月 日	同居・別居	
※区記入欄						
2			有・無	平成・令和 年 月 日	同居・別居	
※区記入欄						
3			有・無	平成・令和 年 月 日	同居・別居	
※区記入欄						
4			有・無	平成・令和 年 月 日	同居・別居	
※区記入欄						

※「監護等」とは、児童扶養手当の受給資格者が母の場合には監護すること、父の場合には監護し、かつ生計を同じくすること、養育者の場合には養育することをいいます。

※18歳到達後最初の3月31日が令和5年3月31日以降である児童又は令和4年4月時点において障害の状態にある20歳未満の者が対象です。

※「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第1項に定める障害の状態をいいます。申請時点において、障害の状態にある者で、18歳到達後最初の3月31日を経過し、かつ20歳未満である者については、障害の状態を確認するため、特別児童扶養手当証書等を添付してください。

3 配偶者及び扶養義務者

同居する配偶者又は生計を同じくする扶養義務者等がいる場合は記入してください。

配偶者/扶養義務者	氏名	続柄	公的年金受給の有無	扶養義務者	氏名	続柄	公的年金受給の有無
配偶者			有・無	扶養義務者			有・無
※区記入欄				※区記入欄			
扶養義務者			有・無	扶養義務者			有・無
※区記入欄				※区記入欄			

※扶養義務者とは、申請者と生計を同じくしている(又は申請者が養育者である場合には申請者の生計を維持している)申請者の父母、祖父母、子、孫、兄弟姉妹等の直系血族をいいます。

4 申請額・請求額

対象児童数	人	申請額・請求額	円
-------	---	---------	---

※対象児童の人数は「2 監護等児童」に記入した児童の人数になります。

※申請額・請求額は、対象児童1人当たり一律50,000円となります。(例)対象児童数3人の場合:50,000円×3人=150,000円

(次ページにつづきます。)

受付	入力	審査	点検	決定

5 児童扶養手当の支給要件

支給要件が「公的年金給付等受給者」の場合は、令和4年4月分の児童扶養手当について、「家計急変者」の場合は、申請時点において、児童扶養手当の支給要件に該当しているかについて確認するため、以下のいずれかに該当する児童を監護等しているかについて、該当する項目のチェック欄(□)に『√』を入れてください。

※既に、児童扶養手当の受給資格について認定を受けている場合は不要です。

支給要件	
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻(法律婚)を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻(事実婚)を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父又は母が死亡した児童
<input type="checkbox"/>	父又は母が障害の状態にある児童
<input type="checkbox"/>	父又は母の生死が明らかでない児童
<input type="checkbox"/>	父又は母が引き続き1年以上遺棄している児童
<input type="checkbox"/>	父又は母がDV被害に関する保護命令を受けた児童
<input type="checkbox"/>	父又は母が引き続き1年以上拘禁されている児童
<input type="checkbox"/>	母が婚姻によらないで懐胎した児童

※「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第2項に定める障害の状態をいいます。「父又は母が障害の状態にある児童」を支給要件として申請される場合は、障害の状態を確認するため、障害年金に係る年金証書等を添付してください。

※「遺棄」とは、父又は母が児童と同居しないで監護義務を全く放棄している場合をいいます。

6 受取方法

以下の金融機関口座への振込みを指定します。

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (右詰めでお書きください。)	口座名義(カタカナで記入) ※「申請・請求者」名義に限ります。 ※通帳の表記に合わせてください。
金融機関コード	支店コード	普通		

※ゆうちょ銀行を選択された場合は、「振込用の店名・預金種目・口座番号(7桁)」(通帳見開き下部に記載)を記入してください。

※長期間入出金のない口座を記入しないで下さい。

【誓約・同意事項】(各項目のチェック欄(□)に『√』を入れてください。)

- 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)(以下「給付金」という。)の支給要件に該当します。
- 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、区が必要な住民基本台帳情報、税情報や公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- 公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。
- この申請書は、区において支給決定をした後は、給付金の請求書として取り扱います。
- 区が支給決定をした後、申請書(請求書)の不備による振込不能等があり、区が確認に努めたにもかかわらず申請者(請求者)の責に帰すべき事由により、令和5年3月31日までに支給が完了できない場合は、給付金が支給されないことに同意します。
- 給付金の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や給付金の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金を返還します。
- 既に他の都道府県等で給付金を受給していた場合には、給付金を返還します。

※必要な添付書類がそろっているか、最後にご確認をお願いします。

※家計急変者として、『簡易な収入(所得)額の申立書』(第4号様式)を提出する場合は、申立てを行う収入(所得)に係る給与明細書、年金振込通知書等の収入額が分かる書類も必要です。

区処理欄

<備考>